

事業所番号
3051480014

令和元年
7月号

熱中症の発症がピークとなるのは7月下旬から8月上旬。

高齢になるにしたがって、汗をかきにくくなって、体内の熱を外に逃がすことができなくなっています。加えて、体内の水分量が減っているうえに喉の渇きを感じにくくなっているので、脱水症状を起こしやすくなっています。

そのために、高齢者が熱中症になると、初期症状の段階で気づかずに、意識障害や全身のけいれん、高体温など重症化するケースも多くなります。

発見が遅れると命を落とすこともありますので、とくに脳卒中の後遺症のある人と糖尿病のある高齢者は注意が必要です。

熱中症対策

準備はOK?

では脱水症とは

高齢者は特に「水分摂取量の減少」に気を付ける必要があります。

高齢者の場合は、老化により基礎代謝量が減少し、代謝によって生成される水分が減少しています。特に筋肉・皮下組織などにおける備蓄水分量が減少しますので、特別な病気がなくても暑さなどの環境の変化などで容易に「脱水」になります。

高齢者では、血圧の低下や脈が早くなったり口の中が乾いたりすると、脱水症状のサインです。

そうならない為にも**口が乾いていなくても**少量づつでも良いので水分を摂取しましょう♪



書類提出のお願い

毎年、**介護保険負担割合証**という書類が、7月末で有効期間終了となります。

介護保険証と同じ緑色をしたもので、海南市より7月中にご自宅に封書が届くかと思っておりますので、届き次第担当のケアマネジャー若しくはデイケアのスタッフにお預けくださいますようお願いいたします。

事業所で確認次第速やかにご返却いたします。

介護保険を適用するうえで非常に重要な書類となりますので必ずご提出いただきますようご理解・ご協力のほどお願いいたします。

暑さがますます厳しくなりますが、こまめな水分摂取を心がけて、夏を乗り切りましょう(^_^)



サービス内容の変更・追加・新規依頼等は

窓口担当：**吉岡 大祐** までよろしく申し上げます

発行元
医療法人同仁会
老人保健施設カルフル・ド・ルポ
海南市築地1番地61
TEL073-483-1000
FAX073-483-8200